

2005年3月期
期末決算資料
(2004年4月~2005年3月)

東洋合成工業株式会社

550301

目次

1. 2005年3月期 決算概要 …P 3~ 8
2. 財務諸表 …P 9~12
3. 売上・利益の推移 …P13~16
4. 2006年3月期業績予想 …P17~19
5. 2005年3月期総括 …P20~21
6. 当社紹介映像（10分） …P22
7. 会社概要・当社の事業・沿革 …P23~31
8. 各事業の展望と対応 …P32~43
9. 2005年3月期トピックス …P44~48



1. 2005年3月期
決算概要

2005年3月期決算概要①

(対前期比)

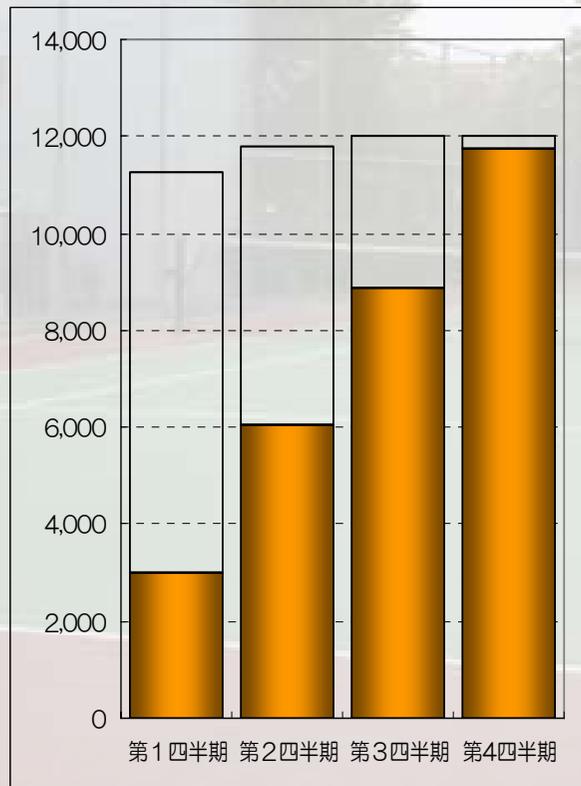
(単位：百万円)

	2004年 3月期	2005年 3月期	増減額	期首 業績予想	予実差
売上高	10,195	11,760	+1,565	11,280	+480
感光性材料	6,796	7,942	+1,145	7,500	+442
化成品	1,980	2,331	+350	2,330	+1
ロジスティック	1,418	1,486	+68	1,450	+36
営業利益	1,148	1,775	+627	1,570	+205
感光性材料	664	1,131	+467	960	+171
化成品	101	188	+87	220	-31
ロジスティック	383	455	+72	390	+65
経常利益	794	1,545	+750	1,180	+365
当期純利益	296	985	+688	650	+335
設備投資額	1,254	3,402	+2,148	2,635	+767
減価償却費	1,220	1,252	+32	1,361	-108
研究開発費	542	520	-21	722	-201

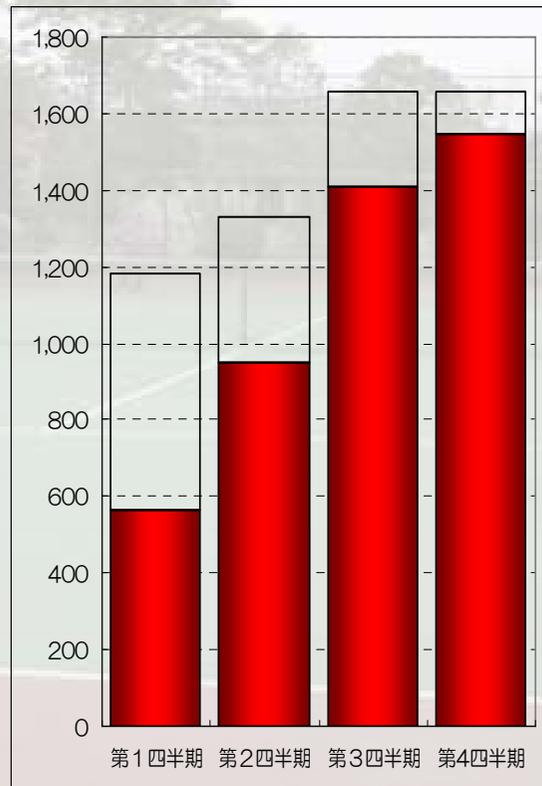
2005年3月期概要② (四半期比較)

(単位：百万円)

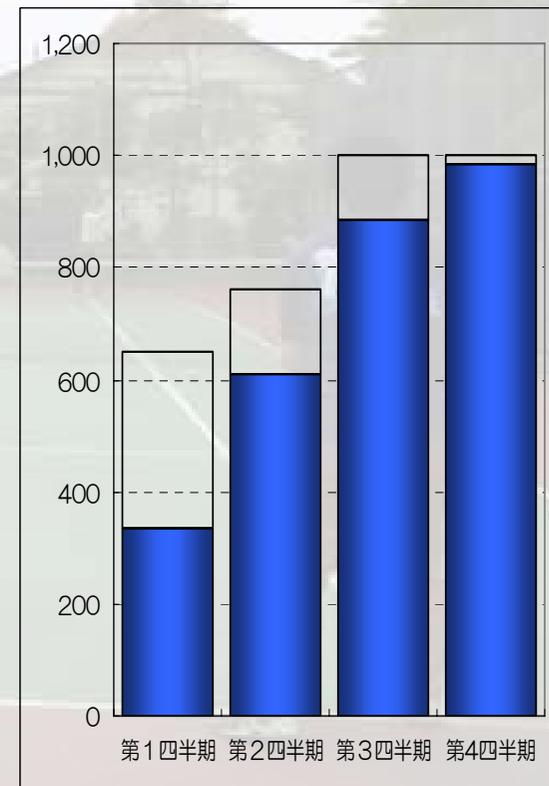
売上高



経常利益

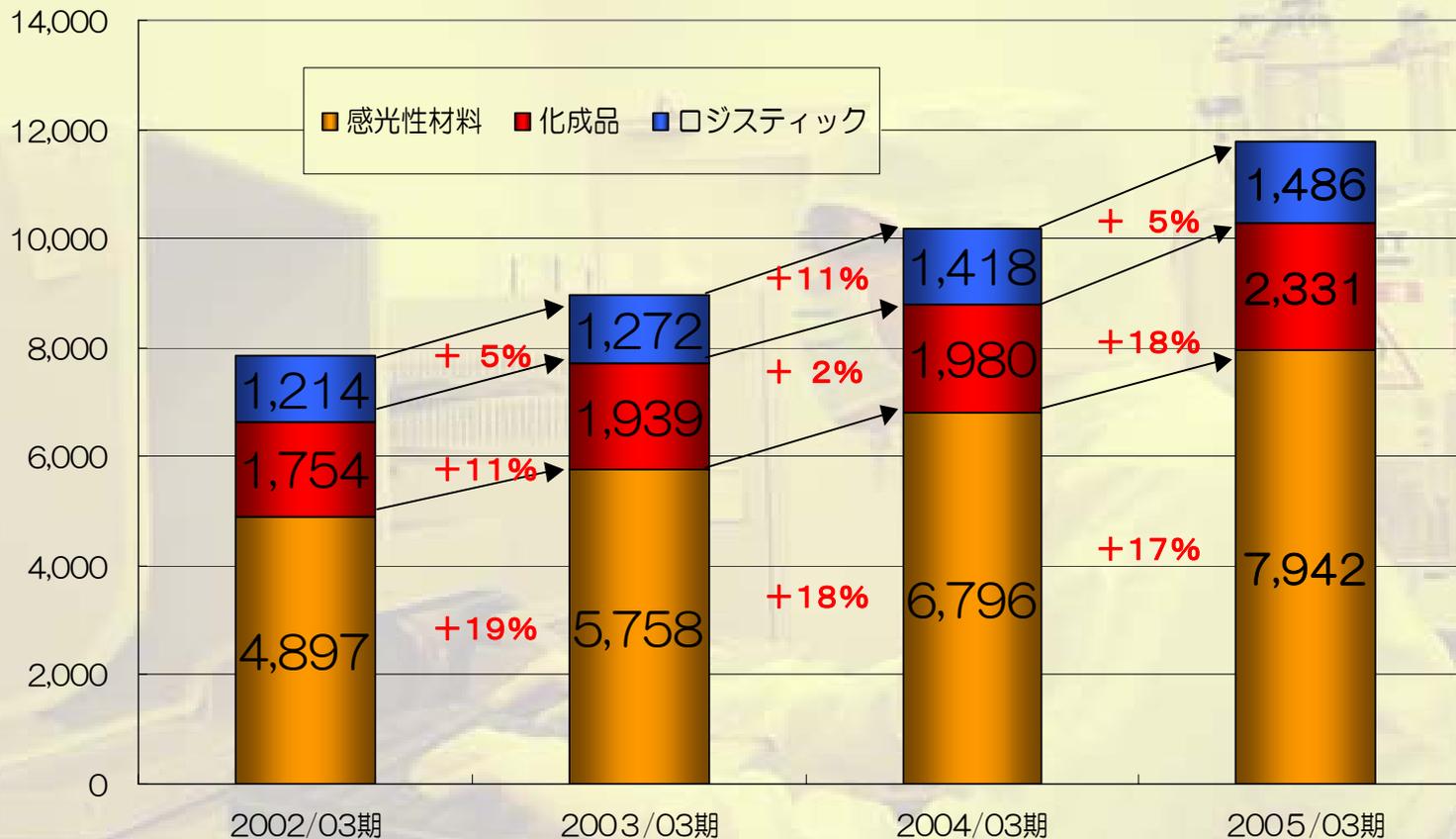


当期純利益

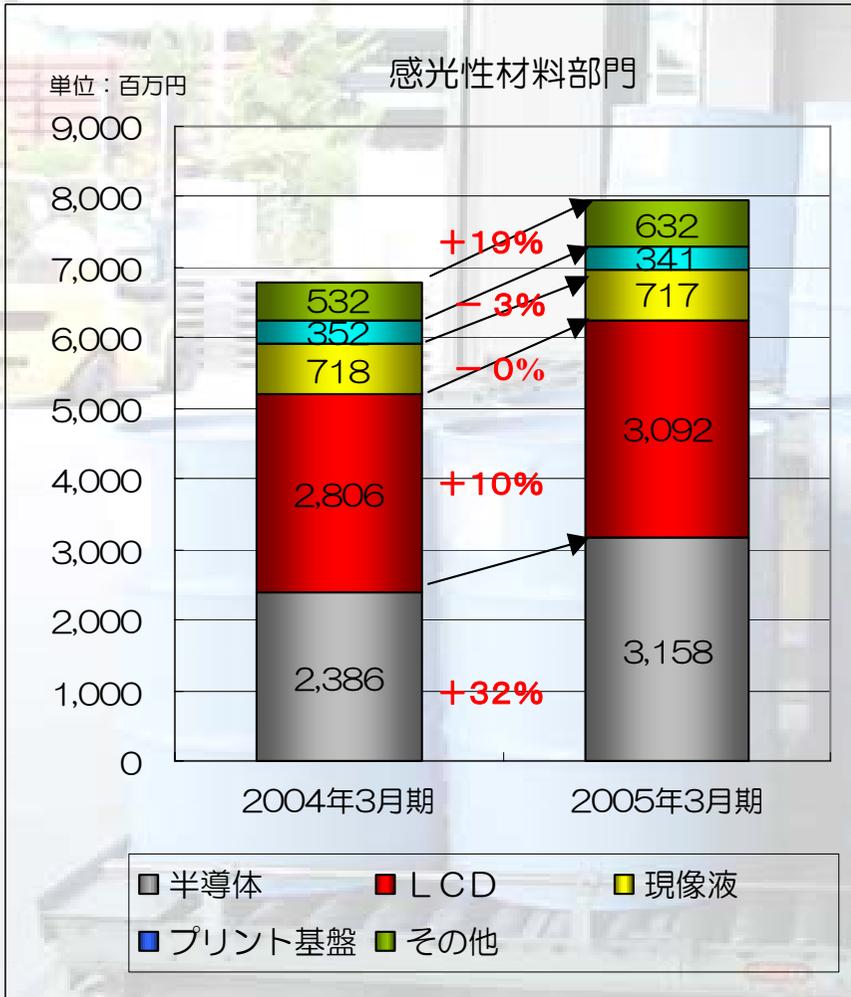


売上高の状況①（事業部別）

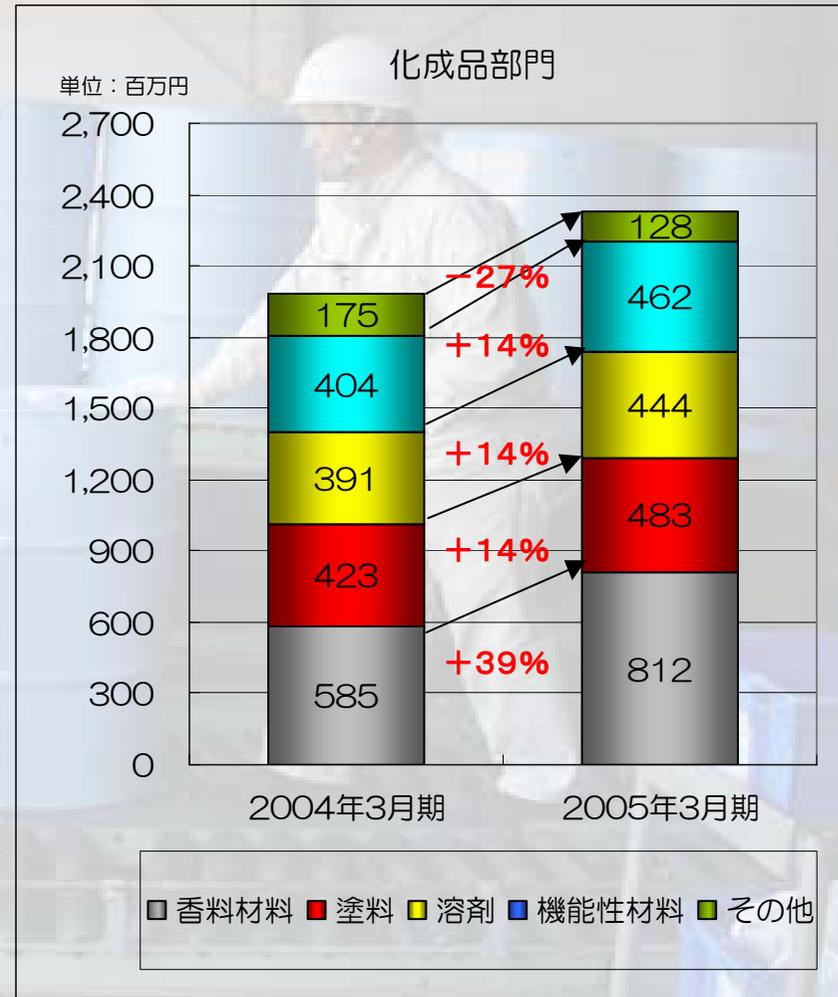
単位：百万円



売上高の状況②（用途別）

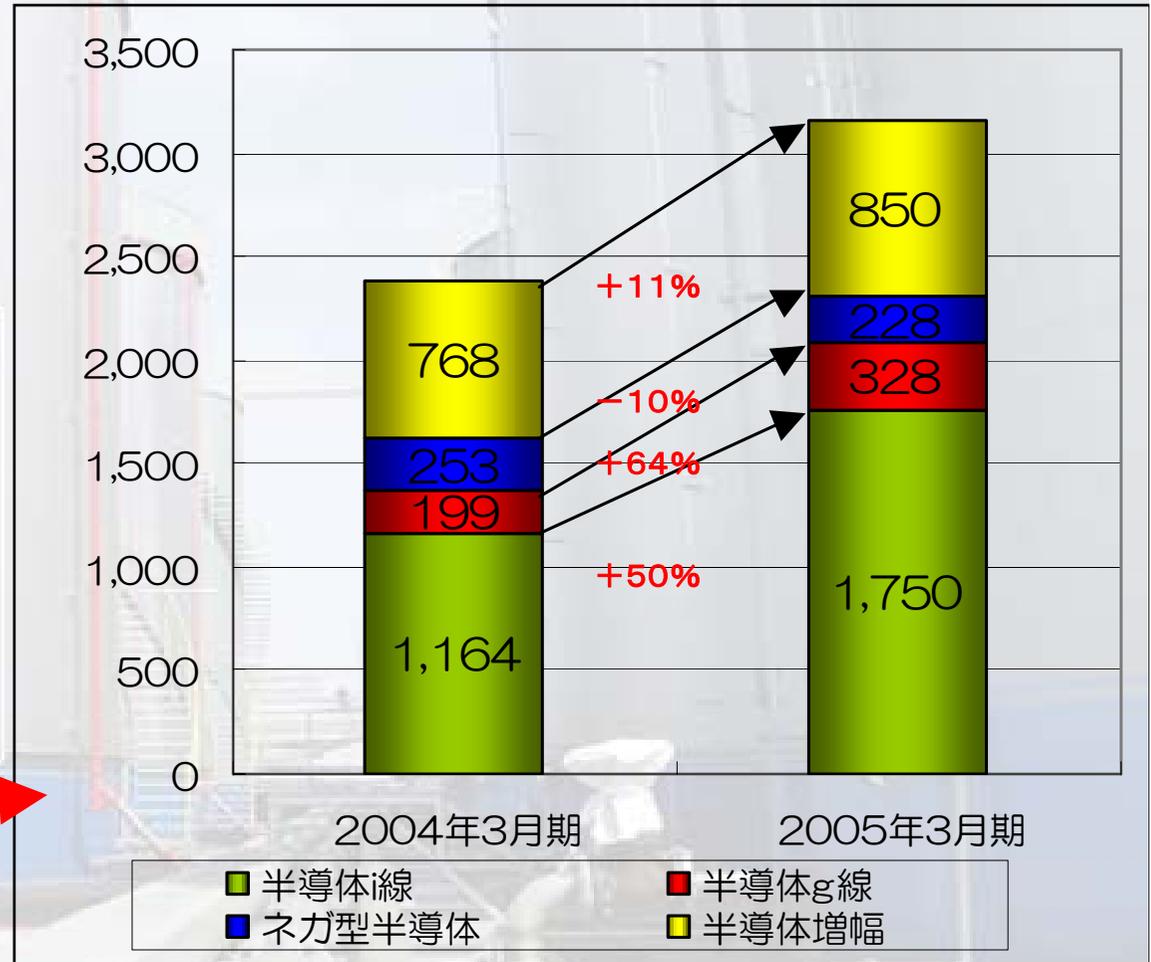
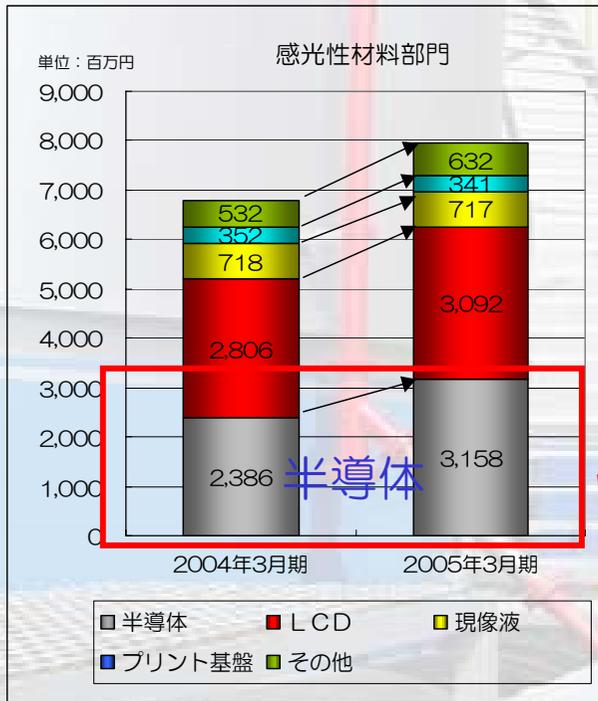


※その他にはBB、ノボラックなどが含まれております。



※その他には医薬原料などが含まれております。

売上高の状況③（半導体詳細）



※半導体増幅にはPAG、KrF、ArF用半導体が含まれております

2. 財務諸表

The background image shows a warehouse or industrial facility. A worker in a white protective suit and cap is handling several grey plastic jugs on a pallet. An orange forklift is parked nearby. The scene is brightly lit, suggesting an outdoor or well-lit indoor environment.

損益計算書

科目	2004年 3月期	2005年 3月期	増減額
売上高	10,195	11,760	+1,565
売上原価	7,427	8,249	+821
売上総利益	2,767	3,511	+743
販管費	1,619	1,735	+115
営業利益	1,148	1,775	+627
営業外収益	50	61	+11
営業外費用	403	291	-111
経常利益	794	1,545	+750
特別利益	10	28	+18
特別損失	234	23	-210
税引前当期純利益	571	1,550	+979
税金費用	274	565	+291
当期純利益	296	985	+688

POINT 1

売上高 11,760百万円

当社主力の感光性材料事業がデジタル関連機器の好調さを受け、売上大幅増加。
他2部門も増収増益

POINT 2

営業利益率の大幅改善

売上増に伴い工場稼働率が向上し、
営業利益率が11%から15%へと改善

POINT 3

最終利益が前年比3.3倍へ

財務体質の改善により売上増による売上債権の増加にもかかわらず、有利子負債を減少させ、
営業外費用の増加をおさえる。

貸借対照表

POINT 1 (単位：百万円)

科目	2004年 3月期	2005年 3月期
流動資産	7,380	8,162
現金預金	1,732	1,240
売上債権	2,398	2,762
棚卸資産	3,049	3,806
その他	199	352
固定資産	12,713	14,943
有形固定資産	11,766	13,908
無形固定資産	203	192
投資その他の資産	743	843
資産合計	20,094	23,105
流動負債	7,994	9,976
仕入債務	1,420	1,893
短期借入金	5,196	5,199
その他	1,377	2,883
固定負債	6,943	5,415
長期借入金	6,127	4,465
その他	815	950
負債合計	14,938	15,391
資本合計	5,156	7,714
負債及び資本合計	20,094	23,105

流動資産の増加

売上増のため、売上債権が15%、
棚卸資産が25%増加

POINT 2

有形固定資産+2,142百万円

工場施設への投資を継続的に進行中

建物	+490百万
機械装置	+769百万
土地	+203百万
建物仮勘定	+473百万

POINT 3

借入金の返済

金融機関からの借入返済△1,659百万

POINT 4

資本の向上

前期末に対し2,558百万 (50%アップ)

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

POINT 1

営業活動によるCF
税引前当期純利益の向上

POINT 2

投資活動によるCF
有形固定資産の取得 2,196百万

POINT 3

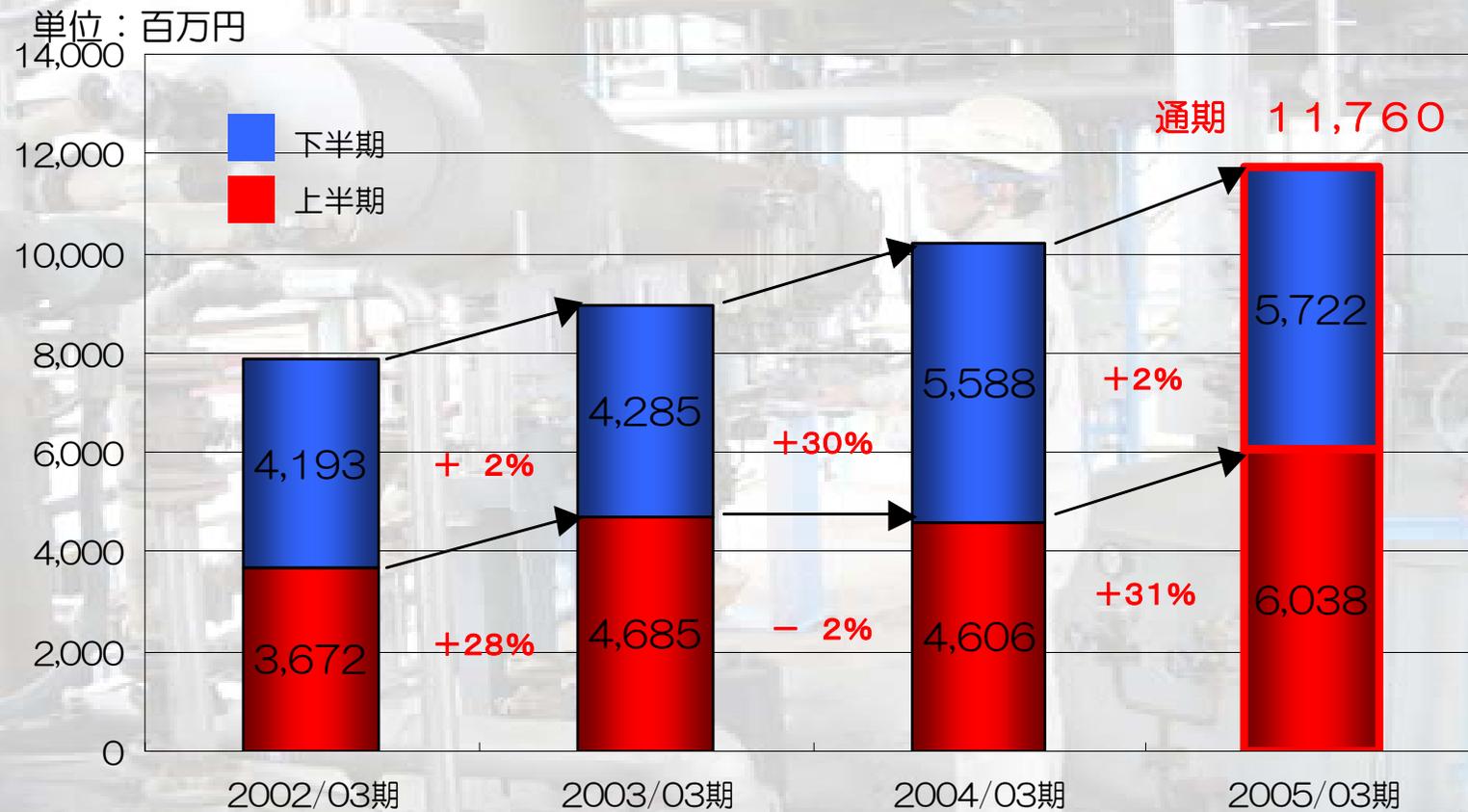
財務活動によるCF
有利子負債の返済 -1,659百万
新株の発行 +1,637百万

科 目	2004年 3 月 期	2005年 3 月 期
営業活動によるCF	1,474	1,785
税引前当期純利益	571	1,550
減価償却費	1,220	1,252
引当金の増減額	124	110
売上債権の増減額	△ 825	△ 363
たな卸資産の増減額	36	△ 757
仕入債務の増減額	289	472
その他	59	△ 480
投資活動によるCF	△ 1,166	△ 1,543
財務活動によるCF	△ 361	△ 69
現金及び現金同等物の増減	△ 53	171
現金及び現金同等物の期末残高	496	668



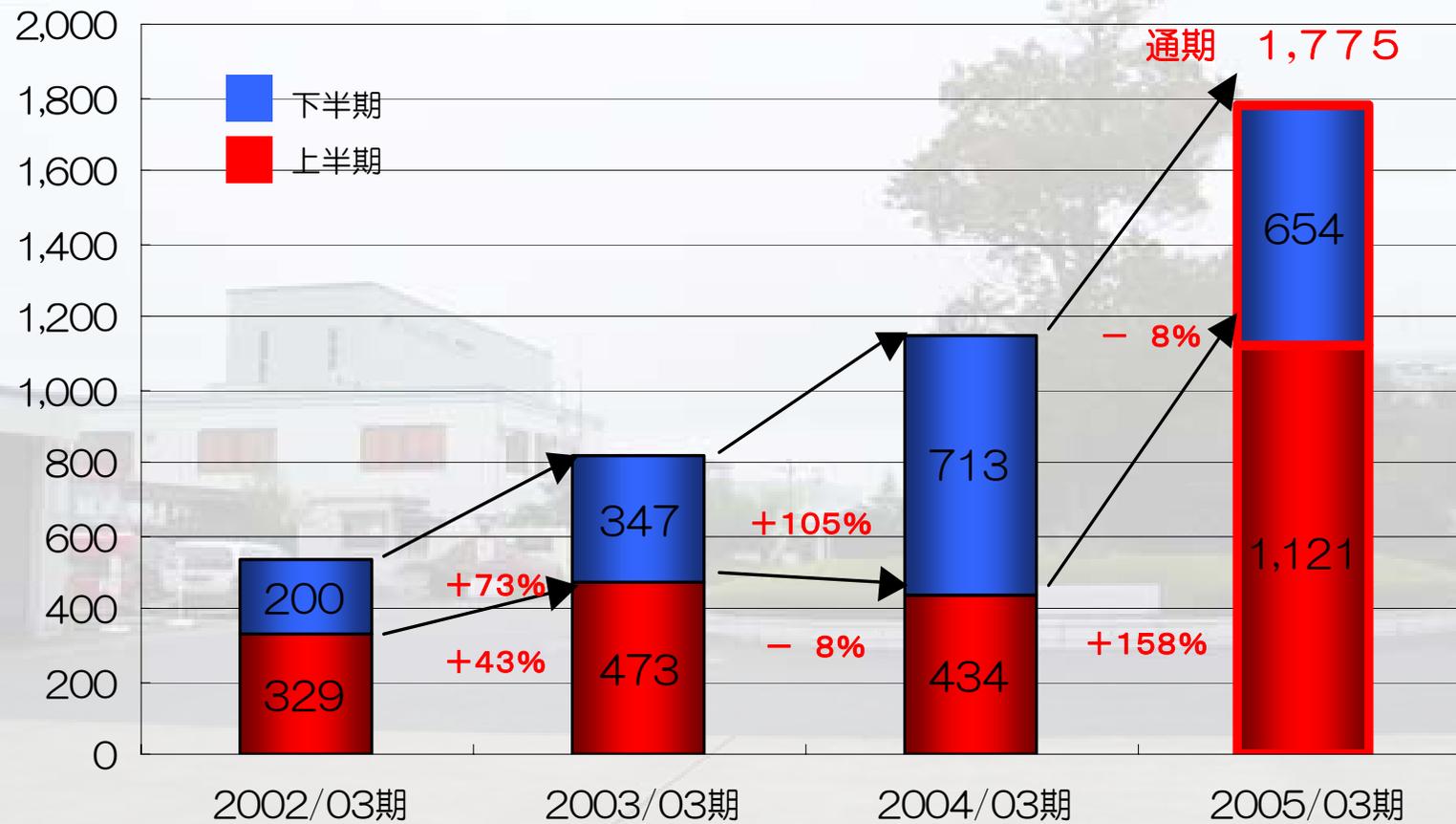
3. 売上・利益の推移

売上高の推移



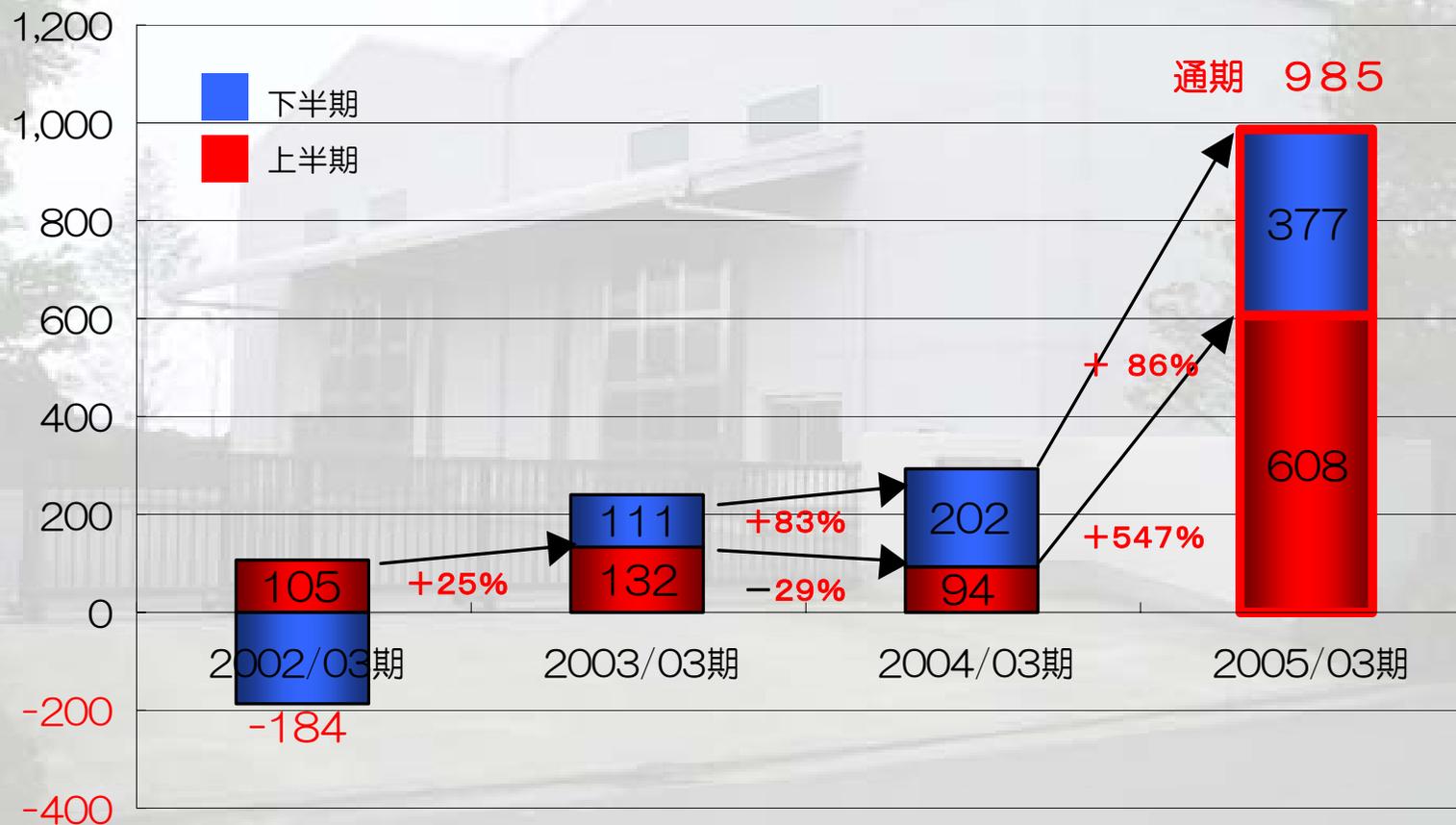
営業利益の推移

単位：百万円



当期純利益の推移

単位：百万円





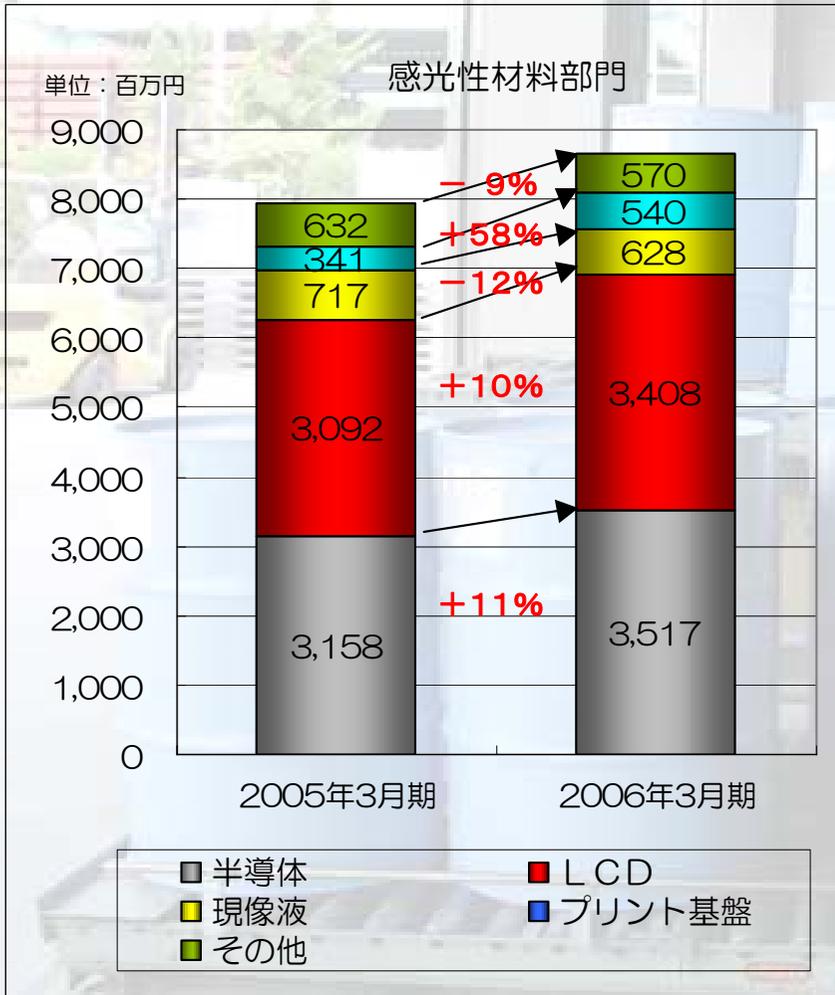
4. 2006年3月期 業績予想

業績予想① (全社)

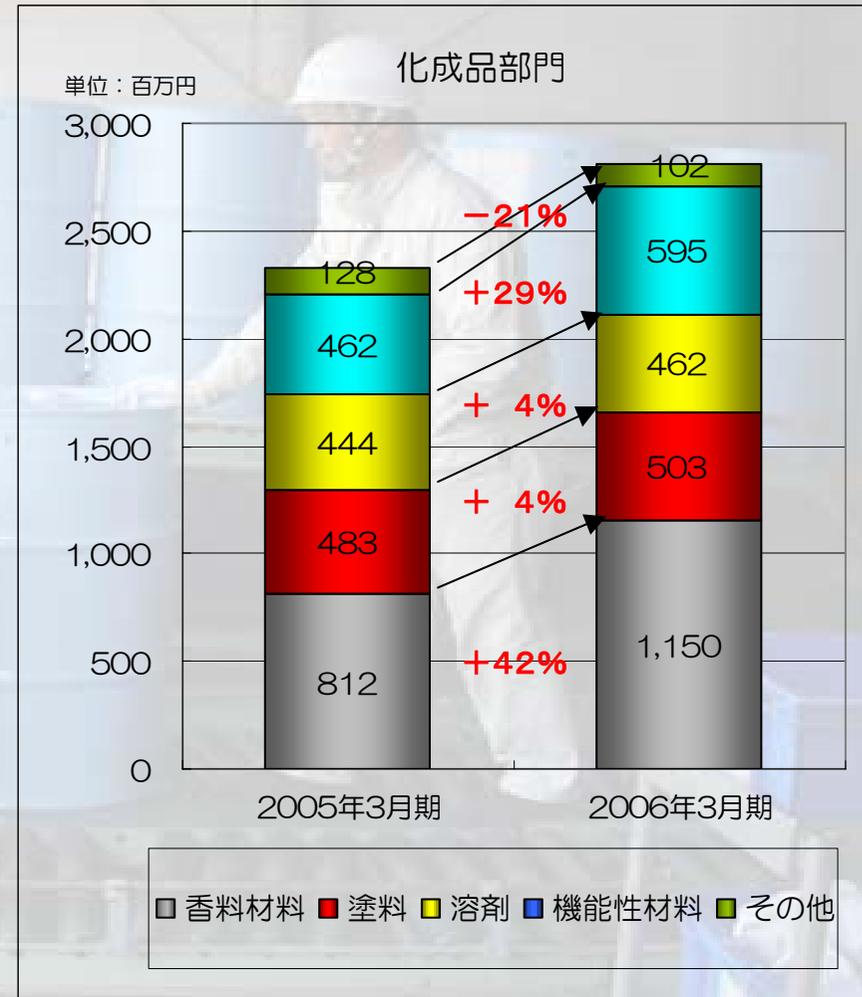
(単位：百万円)

	2005年 3月期	2006年 3月期	増減額	増減率(%)
売上高	11,760	13,000	+1,239	+10.5
感光性材料	7,942	8,665	+723	+9.1
化成品	2,331	2,813	+482	+20.7
ｼﾞｽｯｸ	1,486	1,520	+33	+2.2
営業利益	1,775	2,160	+384	+21.6
感光性材料	1,131	1,312	+181	+16.0
化成品	188	397	+208	+110.4
ｼﾞｽｯｸ	455	449	△5	△1.3
経常利益	1,545	1,860	+314	+20.3
当期純利益	985	1,100	+114	+11.6
設備投資額	3,402	4,005	+602	+17.7
減価償却費	1,252	1,927	+674	+53.9
研究開発費	520	600	+79	+15.4

業績予想② (用途別)



※その他にはBB、ノボラックなどが含まれております。



※その他には医薬原料などが含まれております。



5. 2005年3月期
総括

2005年3月期 総括

売上高

全部門増収
前年同期101億から117億へ(+15%)

利益率

営業利益率	11.2% → 15.1%
経常利益率	7.8% → 13.1%
当期純利益率	2.9% → 8.4%

有利子負債

銀行借入を約16億圧縮
(113億→97億)

自己資本

前期末51億から77億へ



6.当社紹介映像（10分）



7. 会社概要・当社の事業・沿革

当社の事業

感光性材料事業

- ①半導体・液晶表示装置製造
用材料の製造及び販売
- ②エレクトロニクス産業用
各種材料の製造及び販売



化成品事業

- ①有機工業薬品・有機溶剤等
の製造及び販売
- ②香料材料の製造及び販売
- ③有機溶剤のリサイクル業

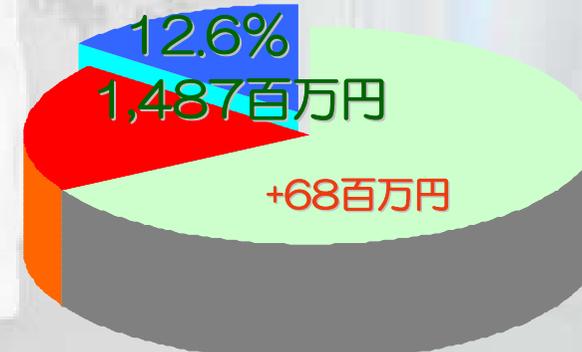
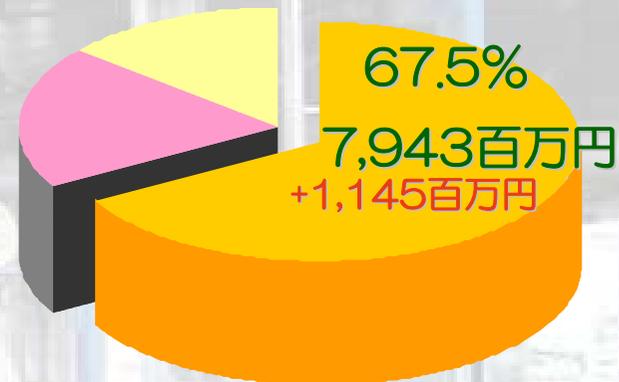


ロジスティック事業

- ①液体化学品倉庫業



2005年3月期 売上高構成比率
期末 売上高11,760百万円



当社の事業

感光性材料事業



化成品事業



ロジスティック事業



ビジネス
ユニット

マイクロ

エネルギー

香料材料

グリーン
ケミカル

ロジスティック

- ・感光材 (PAC
PAG・KrF
ArF用感光材等)

- ・TMAH
- ・イオン性液体
- ・電解液

- ・フレーバー&
フレグランス

- ・有機工業薬品
- ・有機溶剤の
リサイクル業

- ・液体化学品倉庫業

主要な
製品・
サービス



売上
比率

感光性材料事業
67.5%

化成品事業
19.8%

ロジスティック
事業
12.6%

会社概要 (H1 7/3/31現在)

会社名

東洋合成工業株式会社

本社所在地

千葉県市川市上妙典1603番地

代表取締役社長

木村 正輝(きむら まさてる)

設立

1954年9月(第56期)

資本金

16億19百万円

従業員数

312名



本社

事業の沿革①(創業期)

日本アセチレン化学工業株式会社時代 1954~61年

61年に東洋合成工業株式会社に商号を変更



1954~56年

東京都江戸川区今井時代



1956~59年

東京都江戸川区小松川時代



1959 ~ 63年

千葉県市川市南行徳時代

事業の沿革 ② (現在地に移転)

化成品事業(市川工場) 1954年～



1963年

千葉県市川市上妙典に移転

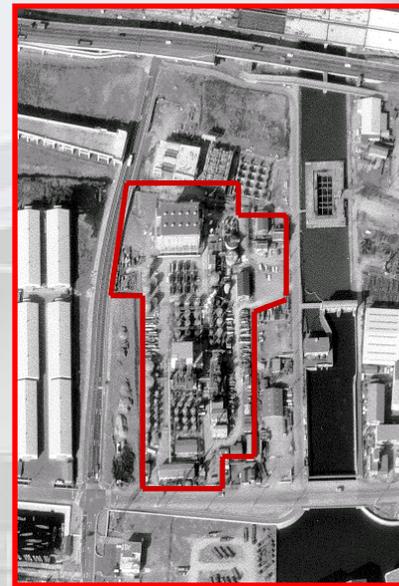
酢酸エステル製造開始



1967年

工場敷地手狭になる

千葉県より市川市高浜の埋立地を取得



1981年

感光性材料の製造開始

感光材製造施設完成



2005年

現在

事業の沿革③(タンク保管事業に進出)

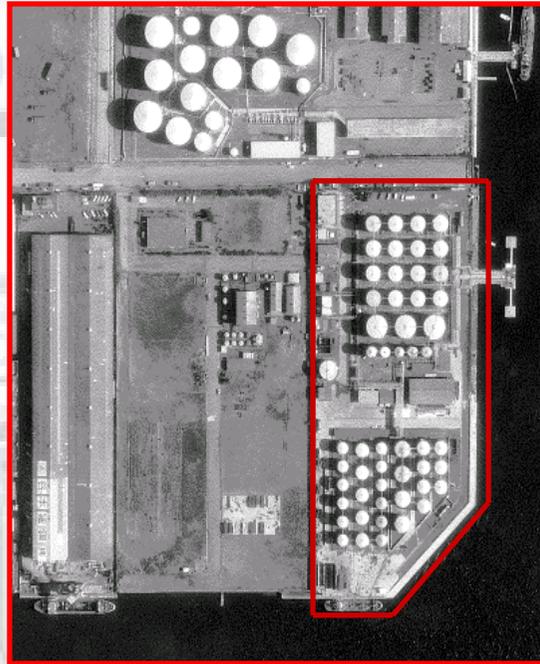
ロジスティック事業(高浜油槽所)1971年～



1971年

高浜油槽所開設

液体化成品タンク保管業務開始



1982年

LPG用タンク3基完成

LPGの委託保管業務を開始

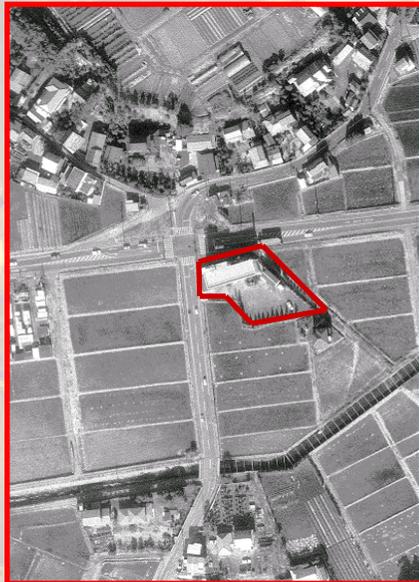


2005年

現在

事業の沿革④ (感光材事業に本格的に進出)

感光材研究所 1982年～



1982年

感光材研究所を開設

千葉県船橋市に感光材
研究所を開設



1995年

研究体制の充実

千葉ニュータウン内に新
研究所の移転用地を取得



1997年

新研究所に移転

千葉県印旛郡印旛村の
千葉ニュータウン内に
新研究所完成



2005年

現在

事業の沿革⑤ (感光材製造工場の開設)

感光材事業(千葉工場)1989~



1990年

千葉県香取郡東庄町に千葉工場を開設

感光性材料製造を目的とする千葉東洋合成株式会社('88~'96)により感光材を本格的に生産開始



2005年

現在

昨年に隣接地2ヶ所を取得



8. 各事業の展望と対応

感光性材料事業の展望と対応

ナフトキノン系感光材の国内シェア

主要メーカー

単位：百万円

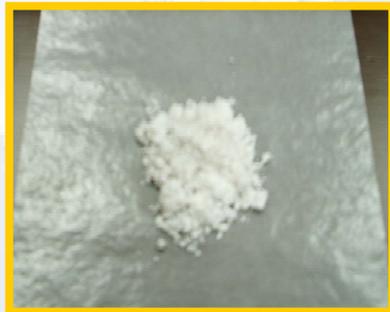
1位	東洋合成工業	7,073
2位	ダイソーケミックス	5,000
3位	住友化学	1,320
4位	三宝化学研究所	1,300

当社調べ

当社の強み

- ・ 独立系である
- ・ 原料から一貫生産を行っており、コスト競争力に優れる
- ・ 複数のユーザーから要望に対応できる技術力がある
- ・ 液晶分野ではトップシェアを有している

感光材(PAC) 製造工程



主原料
(インドより輸入)



NAS



NAC



PAC
(ポジ型感光性材料)



バックボーン

市川工場、感光材製造設備



原料倉庫	感光材主原料
精密化学課	NAS NAC



主原料



NAS -4
-5



クロル化

NAC -4
-5



千葉工場へ輸送

千葉工場、感光材製造設備



第1感光材工場	水溶性感光性材料 ポジ型感光性材料 (PAC)
第2感光材工場	化学増幅型レジスト用 光酸発生剤(PAG) KrF用感光材
第3感光材工場	ポジ型感光性材料 (PAC) ArF用感光材 イオン性液体 電解液
	用途
水溶性感光性材料	印刷版
ポジ型感光性材料(PAC)	液晶ディスプレイ 半導体集積回路
化学増幅型レジスト用 光酸発生剤(PAG)	半導体集積回路
KrF用感光材 ArF用感光材	半導体集積回路

感光性材料事業の展望と対応

単位：億円

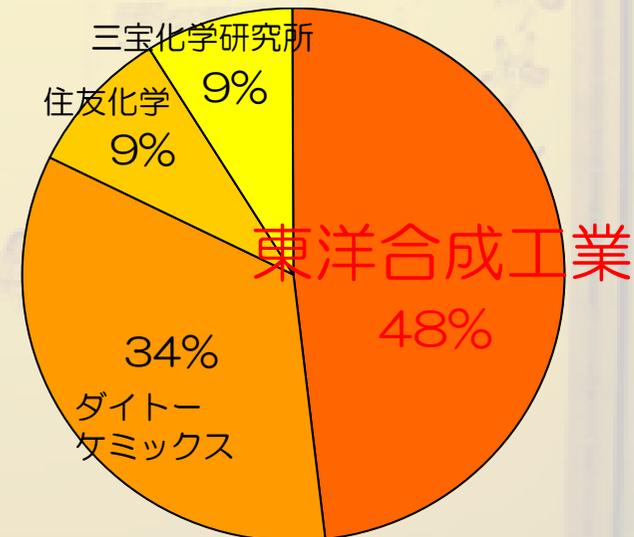
	2005年 市場予測
半導体	241,018
LCD	36,511

※1\$=104で計算

半導体・LCDに必須の材料

- フォトマスク
- シリコンウェハー
- ガラス基板
- フォトレジスト
(感光材)
- など

ナフトキノン系感光材の国内シェア



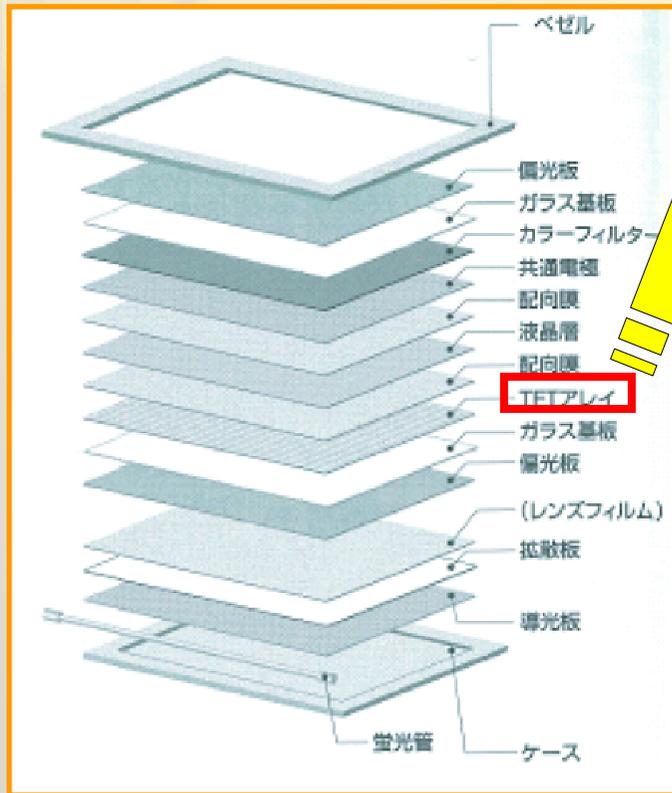
2005年3月度決算

単位：百万円

	東洋合成	ダイソー ケミックス
売上高	11,760	11,608
(内感光性材料 部門売上)	7,073	5,000
当期純利益	985	104

液晶ディスプレイ

TFT液晶ディスプレイを分解してみると...



出典：これがディスプレイの全貌だ！
(かんき出版)

ガラス基盤投入

洗浄・成膜

レジスト塗布

露光

現像

ポストバーク

エッチング
・レジスト剥離

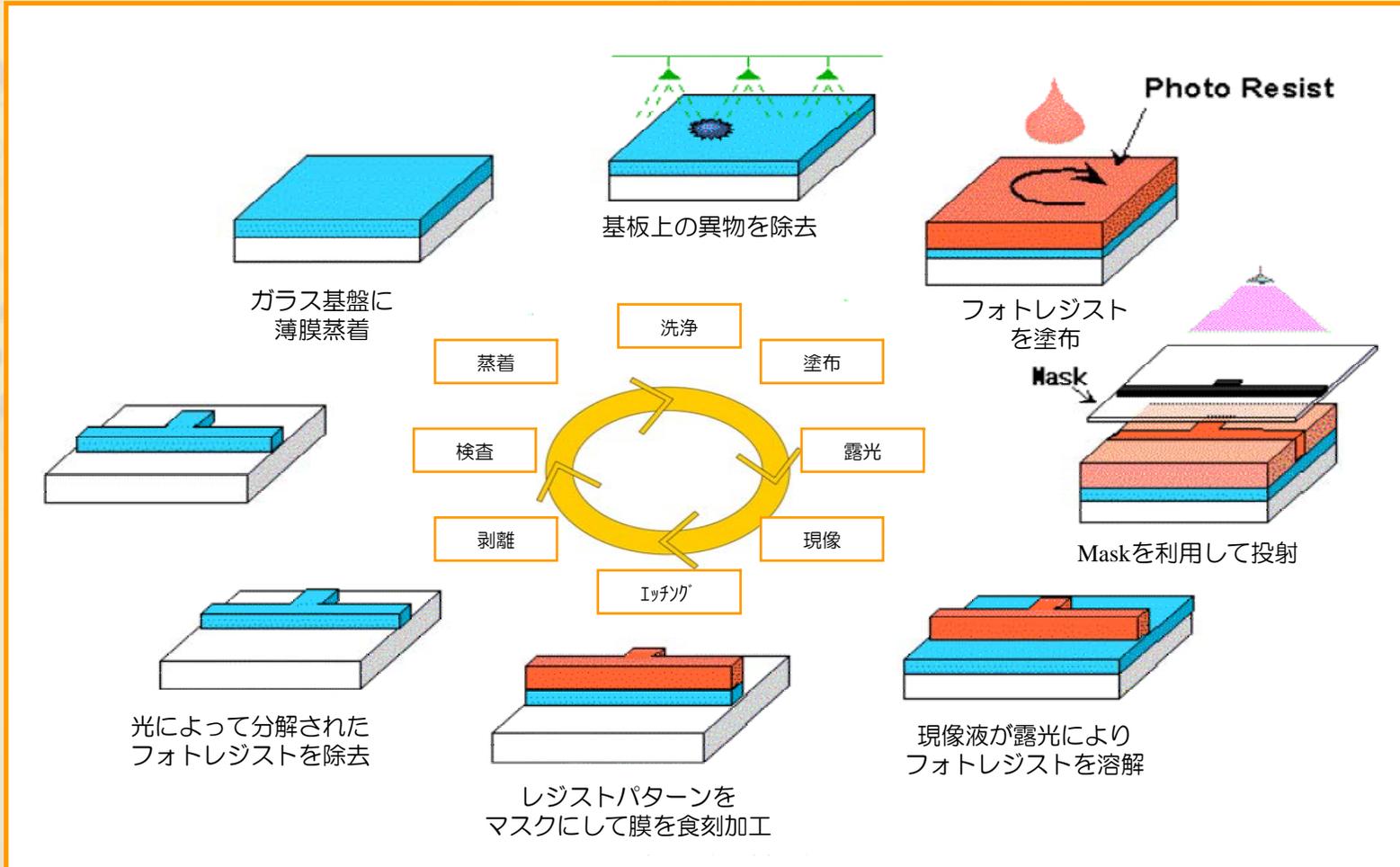
TFTアレイパネル
完成

このレジスト材料の
シェアNo.1が
東洋合成工業

つまり

当社がなくなると
世の中から
液晶ディスプレイが
なくなる!?

液晶ディスプレイ



化成品事業の展望と対応 世界の香料メーカー トップ10

単位：Millions \$

1位	Givaudan (ジボダン)	ス イ ス	2,194.1
2位	International Flavors and Fragrances (IFF)	U S A	1,901.5
3位	Firmenich (フィルメニッヒ)	ス イ ス	1,596.9
4位	Symrise (旧Haarmann und Reimer、Dragocoの合併)	ド イ ツ	1,462.2
5位	Quest International	オ ラ ン ダ	987.5
6位	Takasago (高砂香料)	日 本	897.7
7位	Sensient Flavors (旧Universal Foods International)	U S A	452.0
8位	T.Hasegawa (長谷川香料)	日 本	433.8
9位	Danisco	デンマーク	318.8
10位	Mane SA	フ ラ ンス	310.2

出典：Leffingwell & Associates

グリーンケミカル部の取り組み



VOC対策について

2006年、大気汚染防止法の規制が強化されるのを受け大気中に排出される揮発性有機化合物(VOC)の排出濃度基準をクリアーさせるために塗装、接着剤、印刷業界ではVOC削減への取り組みを加速しています。当社では大気に排出されるVOCガスをキャッチできるPSA装置の設置と回収した溶剤の精製リサイクル事業を進め環境の改善に貢献しています。2004年度より既にグラビア印刷、粘着テープ、液晶ディスプレイ製造工程のVOC排出削減等実績を上げております。

ロジスティック事業の展望と対応

危険物倉庫京浜京葉地区トップ10

2003年度

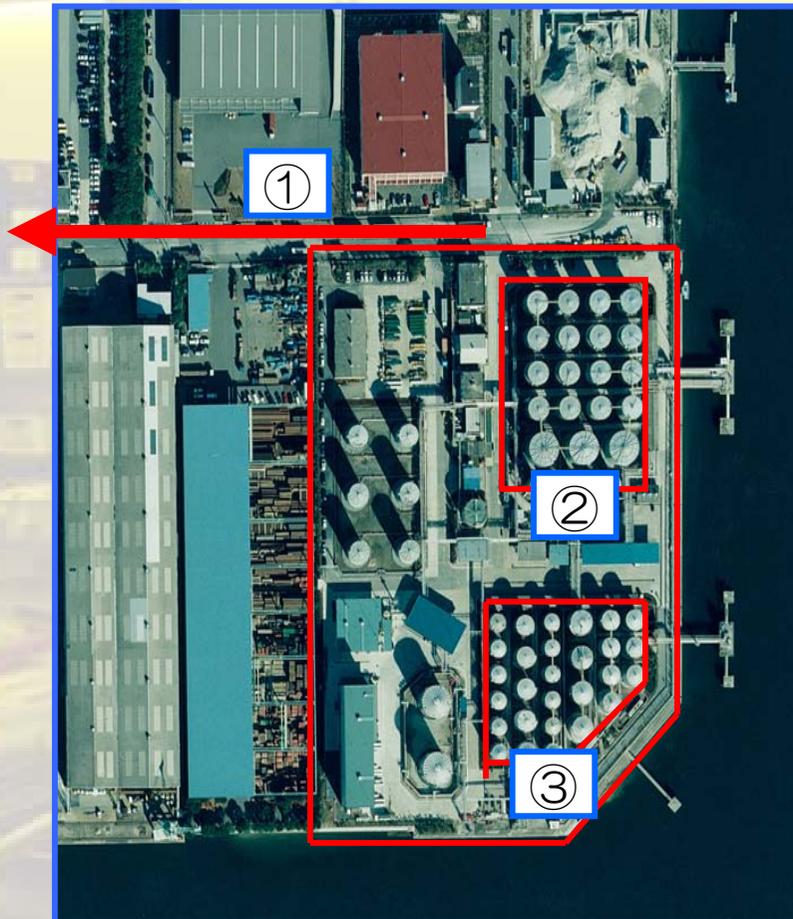
単位：kl

		基数	能力
1位	エム・シー・ターミナル	70	138,268
2位	日本ヴォパック	125	111,940
3位	東京油槽	91	75,410
4位	東洋合成工業	61	51,500
5位	日本タンクターミナル	58	40,665
6位	丸善	65	36,100
7位	エヌアイケミカル	31	34,110
8位	鈴江コーポレーション	29	29,190
9位	日本埠頭倉庫	43	27,200
10位	三菱化学物流	37	26,767

出典：化学工業日報

ロジスティック事業の展望と対応

61基、総計51,500^{リットル}の
タンクターミナル



強み① 首都圏へのアクセス
湾岸線・千鳥町 | Cへ2分
東関東・湾岸市川 | Cへ5分
京葉道路・市川 | Cへ10分

強み② 土地の利用効率
消防法改正の規制を受けない
(1983年以降にタンクを設置した
同業他社はタンク間隔を
5mから15m以上に変更)

強み③ 高いタンク契約率
タンク契約率(稼働率)は95%超



9. 2005年3月期
トピックス

2005年3月期 トピックス

過去最高益

3事業増収増益により、過去最高収益を記録

売上高 10,195百万円 → + 15% → 11,760百万円

経常利益 794百万円 → + 94% → 1,545百万円

当期純利益 296百万円 → +232% → 985百万円

確定拠出年金の導入

従業員の労働意欲を高めるため、確定拠出年金(日本版401k)の導入を決定致しました。これは千葉県下上場企業では3社目です。

新株の発行

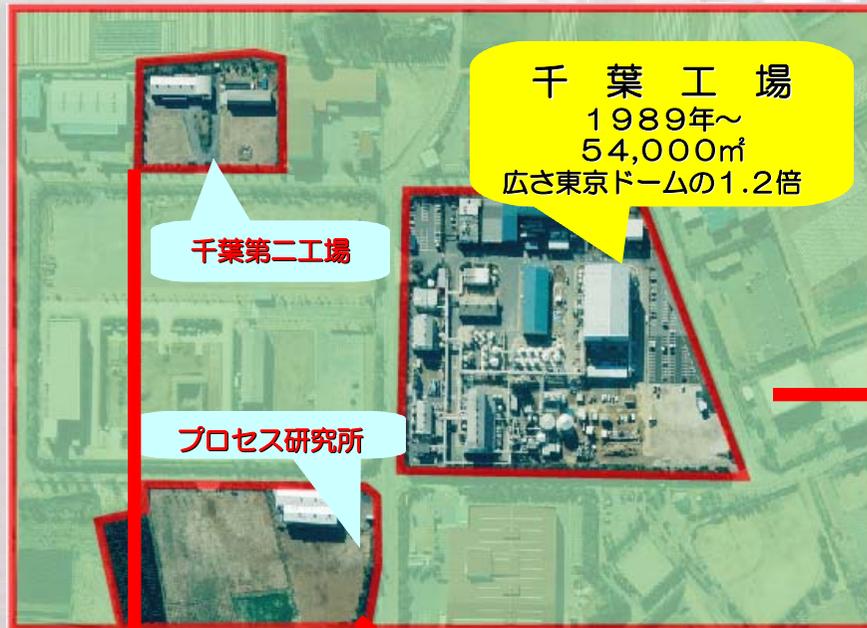
第3感光材工場増設及びArF製造設備及び借入金返済に充当するため、総額16億の公募増資を実施致しました。

ホームページ フルリニューアル

98年に開設されましたホームページを一新致しました。フレッシュな情報発信ツールとして株主の皆様にご利用していただくべく、特にIR情報を充実させています。

(<http://www.toyogosei.co.jp/>)

千葉工場の増築



第3感光材工場

平成16年10月に第3感光材工場を増築致しました。(建設面積1千平方m)
 電解液で月産数十トン、イオン性液体で月産数トンの供給が可能となり、
 質的にも量的にもお客様の様々なご要望にお応えできる体制を既に
 整えております。
 また、今期(第56期)千葉第二工場とプロセス研究所が稼働する予定です。



千葉第二工場 建設予定地



プロセス研究所 建設予定地

第三感光材工場 A-3設備



HEINKEL (HF-600)

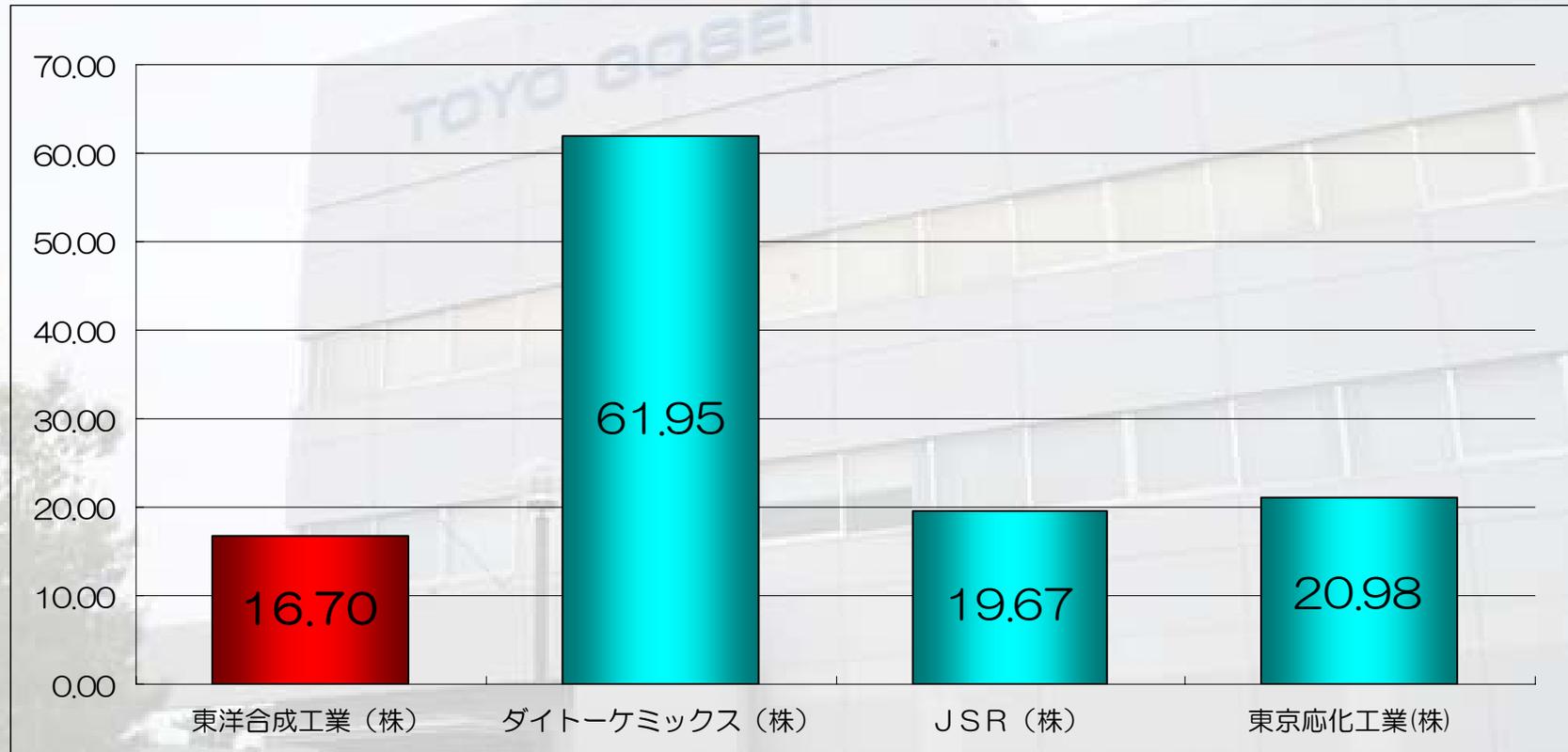
ドイツ製遠心分離機



効果

- ・ ArFモノマーの増産
- ・ 含液率の低減、快適な作業環境

PER同業他社比較



銘柄コード	会社名	決算期	2005年度利益予想	発行済株式数	一株あたり利益	株価	PER
4970	東洋合成工業 (株)	3月	985百万	8,143,390	120.96	2,020	16.70
4366	ダイソーケミックス (株)	3月	104百万	10,986,220	9.04	560	61.95
4185	JSR (株)	3月	27,563百万	255,885,166	107.54	2,115	19.67
4186	東京応化工業(株)	3月	5,088百万	46,351,008	109.17	2,290	20.98

※株価には2005/3/31の終値を使用しています。



東洋合成工業

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性であり、いかなる確約や保証を行うものではありません。